

A 71-Year-Old Woman with Urinary Incontinence and a Mass in the Bladder

尿失禁と膀胱腫瘍を認めた 71 歳女性

(Case 6-2006 Vol. 354(8))

problem list

#1 膀胱悪性腫瘍（移行上皮癌疑い）

- #1-1 6 ヶ月前に急に尿失禁が出現した。
- #1-2 婦人科診察にて、子宮頸部は正常。膣前壁から膀胱にかけて壁肥厚が著明。骨盤内孤立性腫瘍なし。便潜血(-)、子宮分泌物細胞診(-)、子宮内膜生検(-)
- #1-3 CT 検査にて、両側水腎症、両側充実性卵巣腫瘍を認めた。Aortocaval lymph node の腫脹(+)。膀胱の前壁/後壁/側壁が非対称性に肥厚
- #1-4 骨盤部超音波検査にて、不均質の子宮筋層（これは、左壁の線維腺腫の可能性あり）と、両側の充実性の付属器腫瘍を認めた。
- #1-5 膀胱鏡検査・経尿道的腫瘍切除にて、膀胱前壁粘膜が肥厚し、もろくなっていた。筋壁は堅い浸潤性の腫瘍によって、置き換えられていた。尿管が狭窄していた。
- #1-6 膀胱鏡検査・経尿道的腫瘍切除の際に得られた切除標本の病理学的検査によって、「移行上皮癌、grade 3/3、筋層への浸潤あり」と診断された。
- #1-7 MRI 検査にて、左付属器腫瘍（子宮への浸潤あり）と右付属器腫瘍（子宮への浸潤なし）を認めた。

#2 尿失禁

6 ヶ月前に急に発症。

#3 乳癌の既往

2 2 年前に罹患。根治的乳房切除術施行された。4 つのリンパ節で転移陽性。1 年間、化学療法（cyclophosphamide, methotrexate, fluorouracil）を受けた。その後再発の証拠はない。三ヶ月前のマンモグラフィーにて異常所見なし。

#4 癌家系

姉：乳ガン、卵巣癌

母：肺ガン

いとこA（母方）：膵臓癌

いとこB（母方）：膵臓癌

叔母（母方）：骨髄腫

祖母（母方）：子宮癌

患者本人と姉の遺伝子にBRCA1遺伝子のmissense mutationがあることが分かっている。（BRCA2は二人とも正常）。